

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		エンジョイ松阪				公表日	令和7年 1月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7					
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7		スロープがあります。 また、活動室や運動室、学習室など用途が3つに分かれた部屋があります。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		毎朝、10分間清掃と子どもたちが帰宅してから部屋の掃除を毎日行い、清潔感を保つことが出来るように行っています。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	今後、当事業所でも第三者評価を受ける事が出来るように調整を行っています。	・現在、取り組んでいないが今後取り組む予定。 ・外部評価ではないですが、弊社の運営本部が運営に関する部分のチェックを行う取り組みがあります。 ・会社の取り組みとして、他事業所で第三者評価を受けております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社内研修を行っております。 当日研修を受ける事が難しかった場合に、動画視聴など後日確認が取れる取り組みも行っています。 様々な内容の研修が開催されています。 全員参加型と希望参加型があり、それぞれのスタッフにあった研修が開催されています。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		児童発達管理責任者を中心に適切に作成を行っております。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		話し合いや、意見を出し合う会議の場が設定されており、職員が意見交換を行っております。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたツールでの情報から見る児童様の様子を基に、実際の姿を見て、確認を行う事が出来ていると思います。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		担当者を決め、そのスタッフを中心に意見を出し合い、活動のプログラムを週ごとに変えています。 チーム内で相談し合いながらプログラムを検討しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		週ごとに活動が異なる工夫をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童様の様子に合わせ、事業所での過ごし方や活動内容を検討しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		職員間で共有を行い、日々記録に残しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		必ず行い、記録をとっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の記録から、検討や改善の必要がある事に関しては、話し合いをし、次の支援に繋げるよう意識しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		児童発達管理責任者中心に行っています。 適宜行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7		事業所での活動の中で、児童様が自己選択が出来る場面があると思います。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		適切な職員を派遣し参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じ、連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			基本的に行うことが出来ているが、送迎時間の間違いが数回あり、確認を強化していく必要があります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			児童発達支援事業所と情報共有しているが、保育園などとまだ情報交流に取り組みしていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			現状、障害福祉サービス事業所に移行される児童がいないため行っておりません。 ただし、移行が必要となった場合には、情報提供を行うことが出来るように準備しております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		現在は地域の児童発達支援センターとの連携は行っておりません。 今後、研修参加など検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		事業所としては、出ていないがグループ全体のイベントでは、地域の子もたちと交流できる機会はあると思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		HUGというシステムを活用し、日々の様子をお伝えすると共に送迎時などお伝えしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		ご家族様の対応力を図るという観点での、機会の提供などは出来ていないと思います。 そういった時間の設定や、情報提供は力を入れていきたいと思っています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			契約時に行っています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			保護者様との個別面談を開催し、お話を伺いしたり子どもたちの気持ちを積極的に聞いています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		保護者様と面談を行い、説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時や保護者様との面談、公式LINEなどを活用して困りごとなどを保護者様からお伝えして頂いております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		保護者説明会を実施したが、そこで保護者様同士での交流が生まれたかは分からない。今後、開催出来るように検討を行います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情があった場合は、その日のうちに指導員間で共有を行い早期解決と迅速な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		SNSや公式LINEを活用し、発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		毎月個人情報の扱いについてのチェックがあり、事業所全体が意識高く取り組んでいると思います。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		会社の取り組みとして、地域の方も参加するコトが出来イベントを企画しております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		ご契約時に確認し、必要な情報がまとめられています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		衛生管理防災、また交通安全についてなど安全管理に関わる研修を受けています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		入社時に必ず虐待防止研修を受けています。毎月虐待防止についてのチェックを職員全員が行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		グループ全体、事業所での組織的な決定があります。保護者様にも了解を得た上で、そういった可能性のある児童様の個別支援計画には内容が記載されています。		